

「ゆうやけルーム高陽」について

〔 亀崎自治連合会会長 吉村栄夫氏 〕

<内 容>

- 1 「ゆうやけルーム高陽」の概要
- 2 開設に至った経緯
- 3 利用状況、地元での利用者の反応

<資 料> 「ゆうやけルーム高陽」の概要等

「ゆうやけルーム高陽」の説明資料

1 「高陽ニュータウンまちづくり市民会議」の設立経緯

高陽ニュータウンは、1974年の分譲開始から約40年が経過し、団地内の高齢化と人口減少が進み、地域の力も弱くなり、段々と団地活力が失われつつあります。

このまま推移すると団地内の人々にとって住みにくい街、団地外の人々にとっては魅力のない街、若い人達にとっては住みにくい、住みたくない街になりかねません。

このため、この団地に住む人々が力を合わせてこの事態を食い止め、生き活きたした街に甦らせることが必要であると考え、広島県住宅供給公社が主体となり、地域の団体や公民館利用グループに声を掛け、平成24年7月に「高陽ニュータウンまちづくり市民会議」を設立しました。

2 「ゆうやけルーム高陽」の開設経緯

昨年7月から、メンバー8人で月2回程度会合を開き、地域で必要なことは「子ども支援」、「高齢者支援」、「地域支援」の3事業を実施することではないかとの結論に至りました。

この3事業の中で一番困っていることや、即実行出来ることはないかと考えた結果、

- ① この団地は郊外団地であるため、保護者が職場から帰宅する時間が遅くなる。
- ② 県営住宅や公団住宅は一人親家庭が非常に多い。
- ③ 放課後、子ども達の居場所がないため、たむろして問題行動を起こしている。
- ④ 留守家庭が子ども達のたまり場となり、問題が発生している。
- ⑤ 自宅のカギを掛けないで出かける。

等の理由により、放課後の子どもの見守りを実施することになり、平成25年1月から「ゆうやけルーム高陽」を開設しました。

3 「ゆうやけルーム高陽」の概要

(1) 活動の内容

保護者が迎えに来るまでの時間、スタッフ（おじいさん、おばあさん）と会話をしたり、宿題や本を読んだりして安心して過ごす。また、お腹のすく時間なのでスーパーのパン屋に協力してもらい、パン等の軽食を用意している。

(2) 日 時 平日の月曜日から金曜日（土・日・祝は除く）16時から19時まで

(3) 場 所 高陽タウンセンタービル（現在、住宅公社の協力により家賃は無料）

(4) 対 象 高陽ニュータウンの小学生および中学生

(5) 負担金 1名あたり 月2,000円、1日200円

(6) その他 申込書を作成し、事故に備えて同意書を取っている。

4 利用状況

(1) 現在 小学5年生男子1名 小学5年生女子2名 小学1年生女子1名

(2) 夏休みは12時から17時まで兄弟3名

(3) 別の場所（3月中止）で宿題を見ていた中学生が8名利用するとのことであったので、文教女子大学の学生7名及び地域の元先生3名をお願いしていたが、現在のところ利用なし。

5 地元での反応

(1) 地域の中では会費を取っているので儲けている。したがって協力出来ない。
また、実質保険料やスタッフの交通費がいることを説明しても理解してもらえない。

(2) 亀崎以外の小学校は地域外の為、協力出来ない。

(3) 児童館等の閉館後に場所移動し利用するのは大変である。

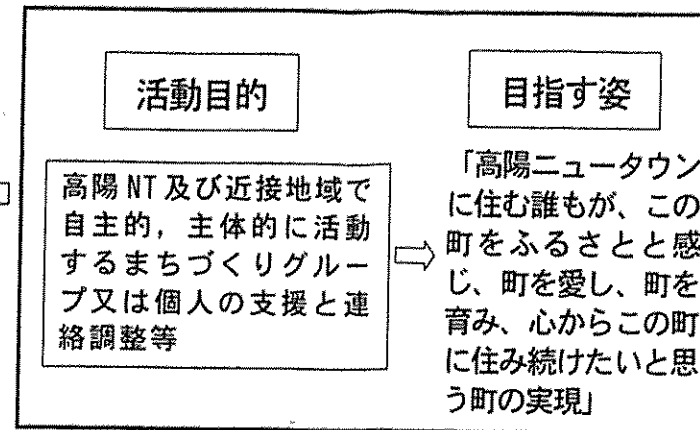
高陽ニュータウンまちづくり市民会議（概要図）

〔市民会議の活動〕

市民会議の設立目的

〔市民会議の組織〕

活動範囲	活動の原則	活動内容
○高陽 NT ○近接地域	●活動グループ及び個人のまちづくり活動を尊重 ●活動グループ及び個人は既存の住民組織等との協調関係を維持	①活動支援、連絡調整、ネットワークづくり等 ②情報収集、調査研究、広報活動 ③関係機関への提案活動、連絡調整 ④高陽NT活性化に関する諸活動への参画 ⑤他の団地、他地域のまちづくり活動団体等の交流等

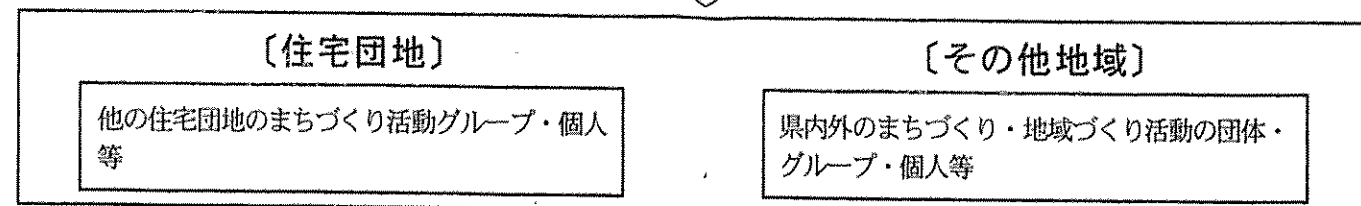
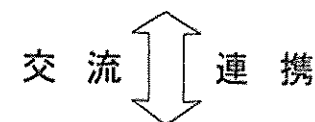
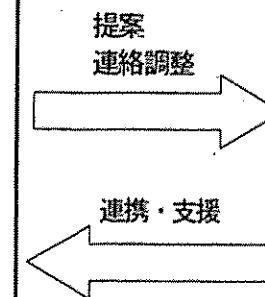
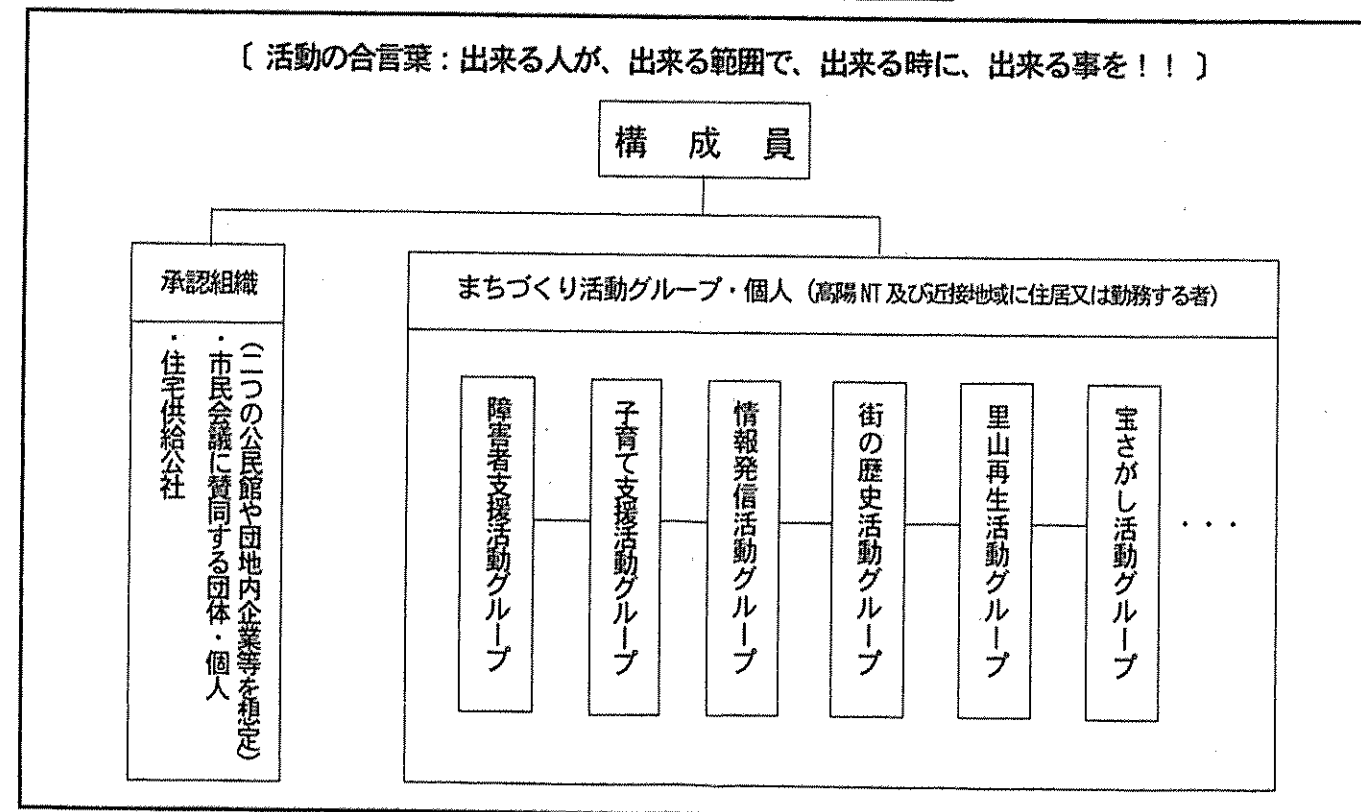
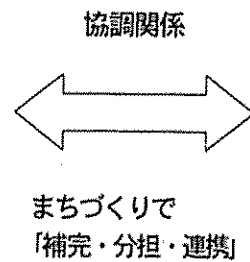
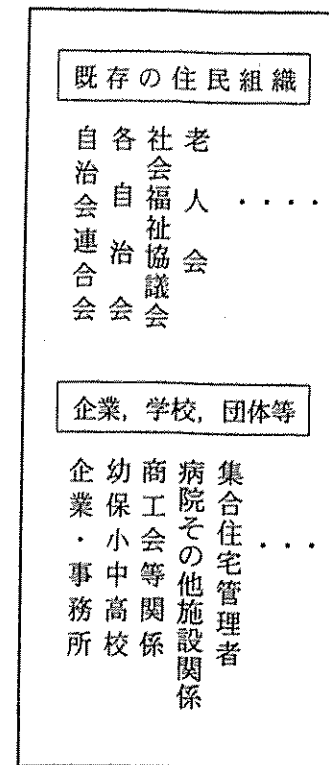


全体会議＝総会		役員会	役員
審議事項	・活動計画及び予算決算 ・市民会議規約の改廃 ・役員の選任その他	職務内容 ・市民会議の活動・運営・実施 ・総会提出事項の審議 ・役員会の運営その他	代表（1名）＝市民会議を代表、活動を統括 副代表（1名）＝代表を補佐 理事（複数名）＝活動、運営、実施を審議 会計理事（1名）＝市民会議の会計 監事（1名）＝市民会議の監査
	開催等 ・代表が召集し主宰 ・年1回以上開催 ・構成員の過半数の出席が必要		

住民組織等

市民会議

関係機関



概要

高陽ニュータウン創生まちづくり基本構想

広島県住宅供給公社

(平成24年3月)

基本理念

- 高陽ニュータウンの良さ(価値)を活かし、住民と共に新しい街を創ります。

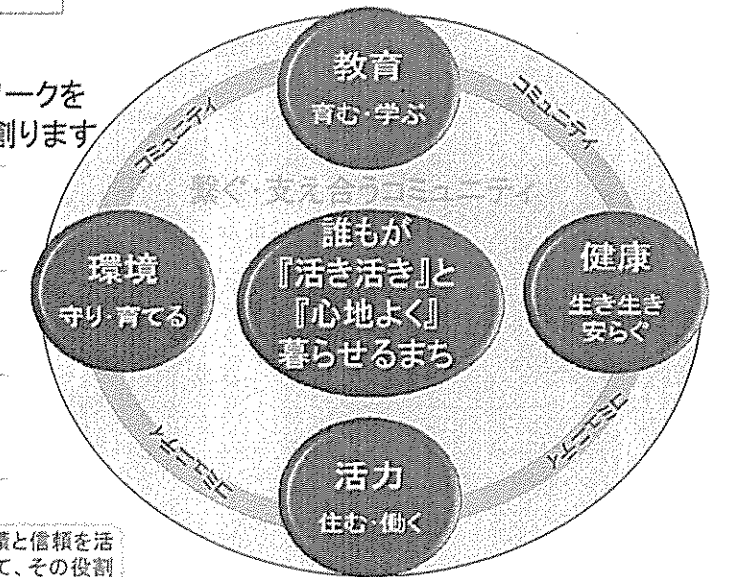
～「住んでみたい、住み続けたい」と思える新しいまち(生活タウン)づくり～

【目指す街の姿】

誰もが「活き活き」と「心地よく」暮せるまち

- 「まちを共に考え、共に創る」人々の思いとネットワークを広げ、地域の力を呼び戻し「活き活きとしたまち」を創ります
- 住む人誰もが「心地よく暮らせる」様々な「生活サービスが充実したまち」を創ります
- 高陽NTが持つ生活や資源などの様々な「優れた団地価値を維持・発展させるまち」を創ります
- まちの内外からの人の循環、経済の循環が高い「活気あふれるまち」を創ります

高陽ニュータウンを開発整備してきた住宅供給公社は、その実績と信頼を活かし、団地全体をマネジメント(管理)するタウンマネージャーとして、その役割を果たします。



2

基本構想策定の背景

時代・社会背景

人口減少社会
少子高齢化

ライフスタイル
の多様化

20世紀における
理想のまちづくりモデル
NTのオールタウン化

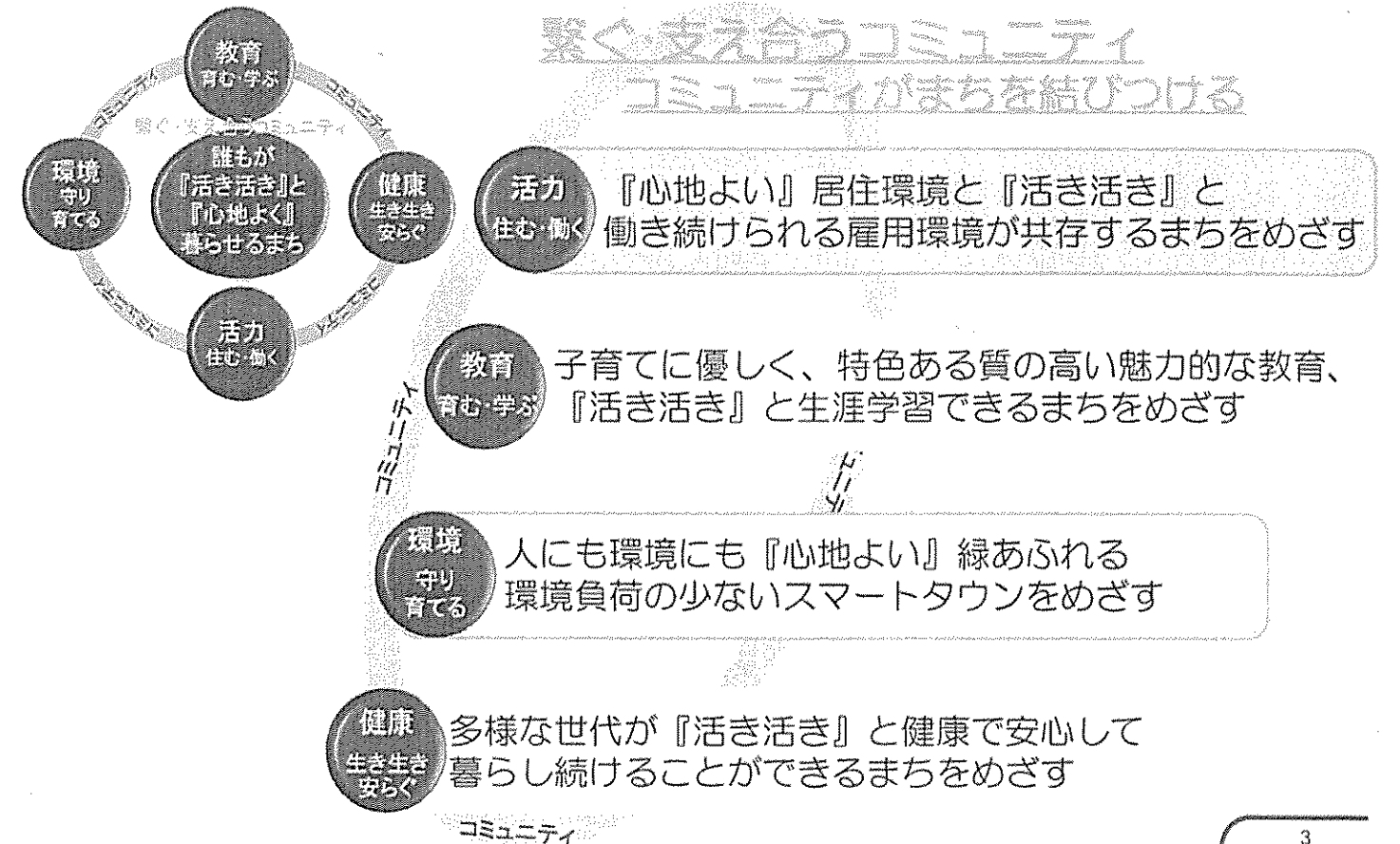
高陽ニュータウンの課題

- 人口構成の課題
(人口の減少、急激な少子高齢化)
- 住宅の課題
(居住空間の快適性・資産価値の低下)
- 住環境の課題
(生活インフラのバリア化、生活サービスの低下)
- コミュニティの課題
(地域力＝地縁力の低下)

魅力のない街・住みにくい街

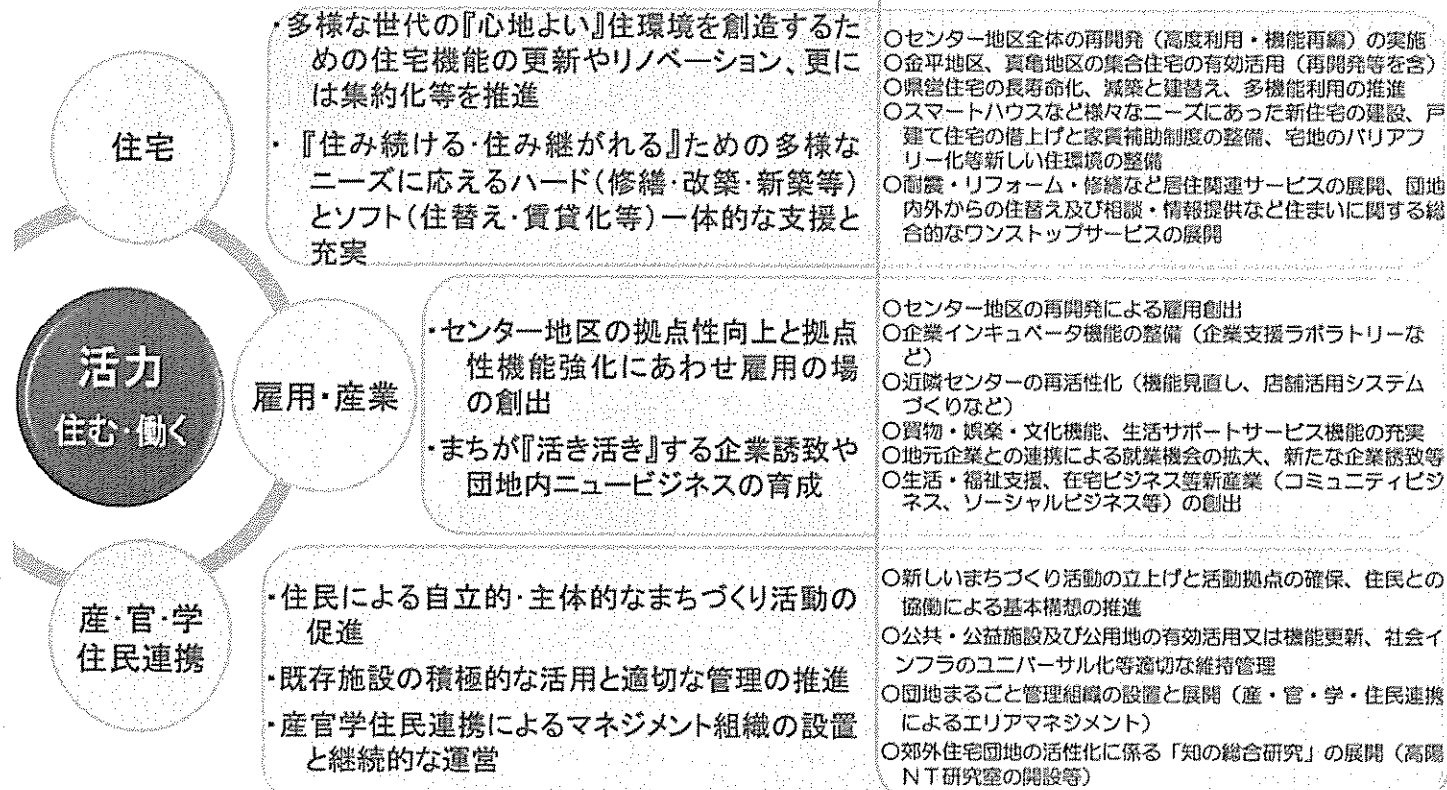
オールタウン化の加速

基本方針



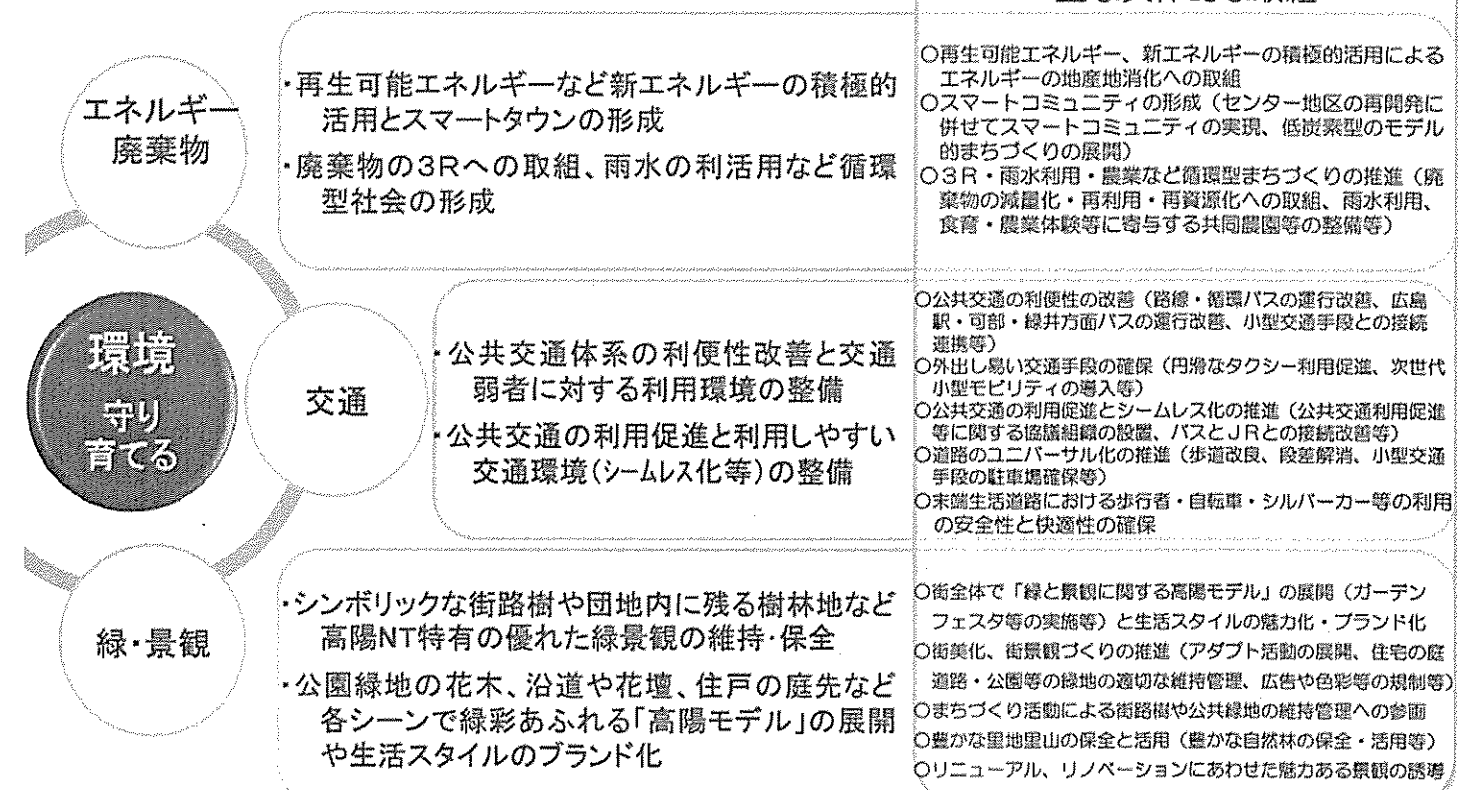
3

創生にむけた具体的施策の展開



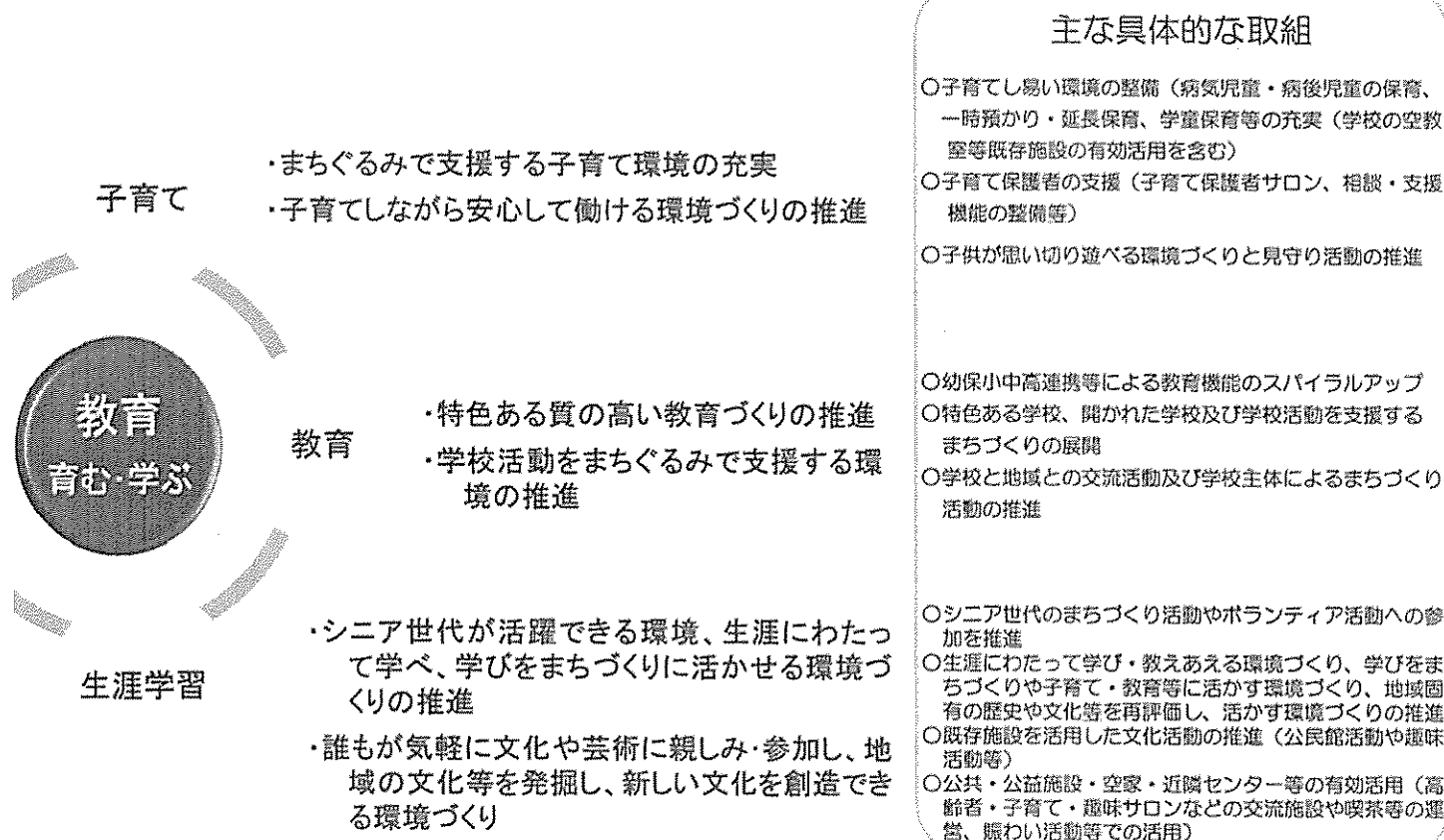
4

創生にむけた具体的施策の展開



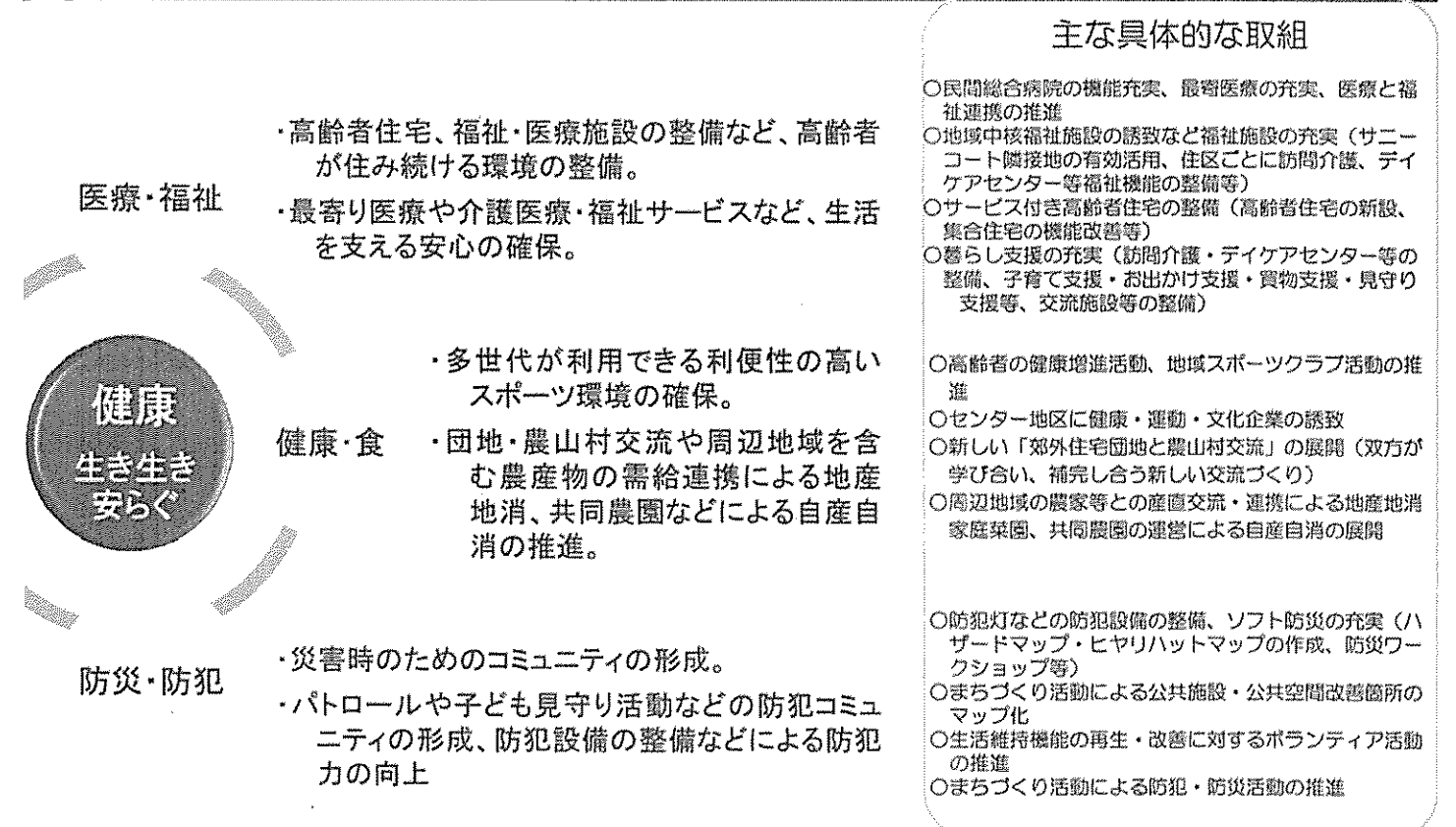
6

創生にむけた具体的施策の展開



5

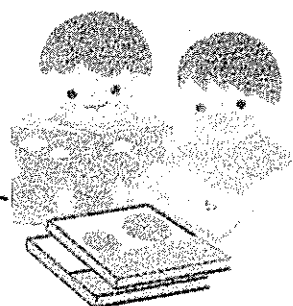
創生にむけた具体的施策の展開



7

平成25年1月より

子供達の居場所（ゆうやけルーム高陽）を作ります



子供たちが下校後一人で留守番をしているのは大変心配です。子供たちが安心して

本（小説やマンガ本等）を読む場所・宿題が出来る場所を提供します。

子供は保護者が迎えに来るまでスタッフが見守ります。

日時 平成25年1月7日（月曜日）15:00オープン

場所 タウンセンタービル地下1階
（もみじ銀行の下、すずらんひろば横）

時間 16:00～19:00まで、軽食（パン）は無料で用意しております
月曜日～金曜日（土・日・祝は休み）

金額 一人月額^{2,000}~~3,000~~円。二人目の兄弟・姉妹は1,500円。
一日利用は200円

対象 高陽ニュータウン在住の小学生、中学生

申込先
上原田（亀崎） 携帯090-7773-0657
白崎（倉掛） 携帯090-7990-8190
桐山（真亀） 携帯090-2803-3464
古川（落合東） 自宅082-842-4141

主催 高陽ニュータウンまちづくり市民会議

代表 吉村 栄夫

広島市安佐北区亀崎1丁目2-4

携帯電話番号 090-2002-4017

共催 広島県住宅供給公社

高陽ニュータウンまちづくり市民会議

申込書

下記同意書を順守の上、ゆうやけルーム高陽に入会を申し込みます。

平成 年 月 日

保護者氏名 _____ 印

住 所 _____

T E L（自宅） _____（緊急連絡先）

児童氏名 _____ 生年月日 _____

学校名 _____ 学年 _____

同意書

- 会費について ^{2,000}~~3,000~~
(1) 一人月額~~3,000~~円二人目の兄弟・姉妹は1,500円
一日利用は200円
(2) 翌月分をその月の末日までに支払い致します
(3) 月の途中での解約は会費の返却は致しません
- 事故について
ルーム内・ルーム外（行き・帰り）に於いて事故があった場合は保険の適用
範囲内のみ補填致します
保険金・・・死亡315万円・入院2,500円・通院1,500円
- 危険行為について
子どもに危険行為があった場合は保護者と相談の上脱会していただく場合
があります
- 迎えについて
小学生は原則保護者の迎えと致します

募集中!! 子育てサポーター 養成講座

地域ぐるみ・まちぐるみで子育ての支えあいを

来る10月1日(月), 高陽地区に待望の常設オープンスペースが誕生します!
これを機に, あなたも子育て支援の一翼を担ってみませんか?

この講座は, 地域ぐるみでの子育て支援のリーダー役となる「子育てサポーター」
の担い手や, 地域で子育てを支えるボランティアを育成する講習会です。

子どもが好きな方、子育てを応援したい方、プラチナ世代のボランティアとして、
お気軽にご参加ください。

♪男性受講者 大歓迎



【講習会場】高陽タウンセンタービル 地下1F(安佐北区亀崎1丁目2-4)

市民会議室又はオープンスペース内多目的スペース

【日程】平成24年10月2日(火)～16(火)の7日間です

【定員】20名

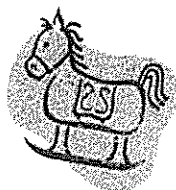
【主催】高陽まちづくり市民会議 ・ 広島文教女子大学

～お申込み・お問い合わせ～

NPO法人 よもぎのアトリエ(担当 橋本賢)

TEL 082-840-0280

FAX 082-840-0290



子育てサポーター養成講座

月	日	時間	講習内容	講師
10	2 (火)	10:00～10:30	開講式・オリエンテーション	事務局
		10:30～12:00	今なぜ子育て支援なのか	高陽なかよし保育園元園長 石川幸枝
		13:00～15:00	広島県の子育て支援事業	広島県子ども家庭課 猪原弘恵
	4 (木)	10:00～12:00	子どもとの関わり方	折り紙博物館 赤木賢治
		13:00～15:00	折り紙で描く心の風景	
	6 (土)	10:00～12:00	地域は私の大家族事業	NPO法人よもぎのアトリエ 室本けい子
		13:00～15:00	子どもと一緒に「マンガ」を書いて遊ぼう	マンガアシスタント 藤原祐樹
	9 (火)	10:00～12:00	広島市の子育て事情	広島市未来局
	11 (木)	10:00～12:00	絵本の魅力	森 さよこ
		13:00～15:00	絵本の語り聞かせの実践	
	13 (土)	10:00～12:00	里子の笑顔は我が家の太陽	地域活性化伝道師 古川充
		13:00～15:00	子どものおやつづくり	小松史織
	16 (火)	10:00～12:00	病気で頑張っている子供の夢の実現	メイク・ウィッシュ・オブ・ジ・パレス 奥田郁江
		13:00～15:00	子育て支援と地域での支え合い	橋本 賢
		15:00～16:00	交流会・閉講式	事務局

放課後の「孫」集まれ

団地

市民会議の事務所(20室を併設している。当面は定員15人程度でスタート。団地内の小学生が対象で、1人月額3千円。きょうだいは1人1千500円。1日利用は200円。市民会議の吉村栄夫代表は「お年寄りも楽しめる。対象が1、3年生のため、4年生以上の共働きの保護者たちから安心して子どもを預かる取り組みを開始。高齢者支援として、蛍光灯の交換などの困りごとを有償で手伝う仕組みづくりも目指す。さらに空き家の活用方法も検討。こうした改善策の1つとして、4月以降も視察を予定している。

交流広げ子育て支援

平方メートルを開放する。メンバー25人が交代で、平日午後4時から同7時まで2人常駐。宿題や読書をして過ごす。住民から集めた本や図鑑計約200冊を備え、地元の高齢者が木工や竹細工を教える教室を開いている。当面は定員15人程度でスタート。団地内の小学生が対象で、1人月額3千円。きょうだいは1人1千500円。1日利用は200円。市民会議の吉村栄夫代表は「お年寄りも楽しめる。対象が1、3年生のため、4年生以上の共働きの保護者たちから安心して子どもを預かる取り組みを開始。高齢者支援として、蛍光灯の交換などの困りごとを有償で手伝う仕組みづくりも目指す。さらに空き家の活用方法も検討。こうした改善策の1つとして、4月以降も視察を予定している。

広島の高陽ニュータウン 高齢者が預かり施設

中四国、九州地方で最大規模の団地、広島市安佐北区の高陽ニュータウンに、団地内のお年寄りが交代で放課後の子どもを預かる「ゆづりやれーん高陽」が7日にオープンした。高齢化が進む団地でお年寄りの「マンパワー」を生かし、世代間交流につなげる。専門家は「お年寄りの活躍の場でもある珍しい取り組み」と評価している。(有岡英俊)



住民から集めた本を並べる市民会議のメンバー



クリック

高陽ニュータウンは、広島県住宅供給公社が、四つの地区を開発し、1974年から90年にかけて分譲した。ピーク時の人口は92年の2万2,212人。2012年9月末には1万7,432人に減少した。65歳以上の割合は72.9%。広島市全体を7.1%上回っている。

全国的に団地に詳しい広島大学の由井義通教授(都市地理学)は「多世代の交流が進めば、地域社会による子育てができる。若い世代を呼び込むこともつながり、持続可能な団地への第一歩になる」と話す。市民会議の吉村代表は「2002(4017)民家全焼し1人が死亡」柳井

もが過ぎる場所がある。12日前午1時15分ごろ、柳井市山根の久本長は「核家族の児童が

団地にも意見が沸く

高陽ニュータウン住民組織



高陽ニュータウン住民組織が10月2日から、団地内のタウンスンタービルで、子育て世代を地域ぐるみで支える仕組みをつくり、定住促進につなげる狙い。(有岡英俊)

広島市安佐北区の高陽ニュータウンの住民組織が10月2日から、団地内のタウンスンタービルで、子育て世代を地域ぐるみで支える仕組みをつくり、定住促進につなげる狙い。

定住促進へ来月養成講座

住民組織は、子育て支援グループ、障害者支援のNPO法人など8団体で構成する「高陽ニュータウンまちづくり市民会議」。10月16日までの計7回、絵本の読み聞かせや漫画の描き方、折り紙遊びなど、子どもの成長に合わせた園児方を学ぶ。初回の2日は、高陽なよし保育園の元園長石川幸枝さん(67)が、園での10年間の実践や子育ての不安解消策などを説明。県の子育て支援事業の紹介もある。国勢調査によると、ニュータウンの人口は

2010年に約1万7,300人で、95年比約4,280人減。65歳以上の割合は10年調査で25.7%と95年比で7.5%増になっている。高齢化の速さを踏まえ、住みやすい地域づくりを考えると、市民会議がことし7月発足。10月1日に同じビルで、学校法人武田学園(同区)運営の子育てオアシススペースが開設されるのに合わせて、初めて企画した。市民会議の吉村栄夫代表(70)は「子育て支援の現状を学び、若い世代を地域ぐるみで支える意識を共有したい」と話す。定員は毎回20人程度。無料。NPO法人よもぎのていり工芸082(840)0280。

団地にも意見が沸く

広島市安佐北区の高陽ニュータウンの住民組織が、高齢化が進む団地のいきわを取り戻す事業に、本格的に乗り出す。今月、他の団地を初めて視察。先進事例を参考に高齢者や子育て世代への支援を充実させ、暮らしやすさにつなげる。

団地

高陽ニュータウンの住民組織が、高齢化が進む団地のいきわを取り戻す事業に、本格的に乗り出す。今月、他の団地を初めて視察。先進事例を参考に高齢者や子育て世代への支援を充実させ、暮らしやすさにつなげる。



視察など今後の活動について話し合う市民会議のメンバー

高陽の住民組織 視察計画

高齢者・育児支援充実へ

取り組みは「高陽ニュータウンまちづくり市民会議」。まずメンバー6人が19日、神戸市と兵庫県明石市にまたがる明舞団地を訪ねる。1964年に入居が始まり、高齢化率が約36%に上る団地で、住民の交流の場などを巡る。住民と子どもに再生計画を進める兵庫県の担当者からも取り組み状況を聞く。広島市の補助金約19万円を活用する。

ら、団地内のお年寄りが放課後の子どもを預かる取り組みを開始。高齢者支援として、蛍光灯の交換などの困りごとを有償で手伝う仕組みづくりも目指す。さらに空き家の活用方法も検討。こうした改善策の1つとして、4月以降も視察を予定している。高陽ニュータウンは1974、90年の分譲。65歳以上が約28%を占め、市全体を7.5%上回り高齢化が進む。市民会議の吉村栄夫代表は「活動の資金拠出、住民への周知の手法などを視察で学び、子どもからお年寄りまでが住みやすい街づくりにつなげたい」と話している。